

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	阿南 寿美子	職名	准教授	学位	修士 (教育学)
----	--------	----	-----	----	----------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
幼児心理 幼児教育 保育者養成	社会的能力の発達 規範意識 いざこざ 保育観 子どもの学び 保育カンファレンス 保育記録

研 究 課 題
<p>幼児期の対人交渉場面において、乳幼児が規範意識や対人関係構築などの社会的能力をどのように獲得していくのかについて考察する。子どもの遊びの中における学び (育ち) の捉え方について考察する。</p> <p>保育者養成校の学生が、2 年間の学生生活を通してどのように保育者として保育観や援助観が育まれて行くのかを考察する。</p> <p>保育の質を向上するための保育カンファレンスのあり方について考察する。</p>

担 当 授 業 科 目
<p>学校法人西南女学院 西南女学院大学短期大学部 保育科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の心理学 I (前期) (1 年生) ・こども家庭支援の心理学 (後期) (1 年生) ・こどもの発達理解とあそび (複数担当教員) (前期) (2 年生) ・教育実習指導 (複数担当教員) (2 年間通年) (1 年生、2 年生) ・教育実習 I (複数担当教員) (通年・学外) (1 年生) ・教育実習 II (複数担当教員) (前期・学外) (2 年生) ・教育実習 III (複数担当教員) (後期・学外) (2 年生) ・保育・教職実践演習 (幼稚園) (複数担当教員) (後期) (2 年生) ・こども学基礎演習 (通年) (1 年生) ・こども学特別演習 (通年) (2 年生) <p>学校法人弘徳学園 姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達心理学 (後期) (3 年生) レポート試験 ・発達検査法 (後期) (4 年生) レポート試験

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【保育の心理学 I】</p> <p>「保育の心理学 I」では子どもの発達を理解を目的として講義を中心に授業を展開した。その際、スライド等を使用し視覚的に講座内容を理解できるように配慮するとともに、学生のこれまでの保育体験や自身を振り返ることによって、具体的に場面を想起することができるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【こどもの発達理解とあそび】</p> <p>共同担当教員の演習で乳幼児の「遊び」を実際に体験し、感じたことを講座ごとに記録・振り返りを行った上で、指導案の作成指導を行った。「遊び」に参加する際、保育者としての視点を持ちながら取組み、子どもの思いへの理解を深めた計画を立てることができるよう配慮した。また、他者の指導案を添削することで、自身への気付きが持てるように授業を展開した。</p>

<p>授業科目名【こども学基礎演習】</p> <p>今年度より「遊び体験」として近隣の保育園または幼稚園で実際に子どもと触れ合う時間を設けた。体験後は振り返りを行い、困ったこと、わからなかったことなどゼミごとに意見を出し合い、グループワークを行った。その後、全体の前で発表した事例についての解説を複数の教員が行うことにより、学生の直接体験による学びを深められるよう授業を展開した。</p>
<p>授業科目名【こども学特別演習】</p> <p>毎年行っているボランティアを中心とした活動を学生の自主性を重視しながら展開できるよう指導した。2019年度の主な活動は、学校見学会（模擬授業）、近隣保育園での遊びの実践、その他保育園での子どもとの触れ合いなどである。また、学内に整備された「えほんの部屋」にて、附属幼稚園の園児を対象に月1回のおはなし会を実施。さらに下曾根のショッピングモールにおいてもモールに来ている親子対象におはなし会を実施した。行事の提供は教員が行ったが、内容決めから台本作成にいたるまで、ゼミ長、副ゼミ長、各行事担当を中心に準備を進め、実践を行っている。</p>
<p>授業科目名【保育・教職実践演習（幼稚園）】</p> <p>様々な角度から保育をとらえる視点が育まれるように、現場保育者の実践事例検討を行った。また、模擬保育では、これまで授業や実習を通して学んだことを活かしながら、2人1組で指導計画を作成し、準備・実践までを行った。子ども役は保育者が要求する年齢の子どもを演じるために、子どもの姿を表現することが必要になる。観察者は客観的に保育全体を観ることが必要になる。これらを通して、学生に保育者としての意識が高まるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【教育実習指導】</p> <p>事後の指導において個人指導として個別面談、全体指導として報告会を行った。それにより他者の学びを自己と比較することによって個人の学びをより深め、課題を見出し次回につなげることができるようにした。また、事前指導においては教材発表の時間を設け、子どもたちへの提示の仕方等も含めての指導を行った。実習前の設定保育に関する指導講座を増やし、実習時に保育者の援助への捉え方が主体的になるように配慮した。</p> <p>報告会は1、2年生合同で行い、2年生よるポスター発表を中心に学生同士の学び合いがなされるよう取り組みを行った。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本保育学会	会員	2012年～
日本保育者養成教育学会	会員	2018年～
日本乳幼児教育学会	会員	2018年～

2019年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				

2019年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 1. 幼稚園教育実習・保育所実習における読み聞かせの実態～実習事後指導のアンケート調査より～	共著	2020年3月	福岡女学院大学	保育者養成校の学生は各実習において、配属クラスの子どもに応じた絵本や紙芝居などの教材を準備し、実践している。その際、学生がどのような絵本・紙芝居の実践を行っているのかを検証した。
2. 保育カンファレンスにおける保育記録の活用のあるあり方	共著	2020年3月	別府大学短期大学部	保育の質を高めるためには、保育者の子どもの姿を見とる力が必要である。その為の保育カンファレンスのあり方、また保育者の抱えている困難についてインタビューを行い、SCATを用いた分析を用いて検証した。
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
実習時における学生の困難事例についての検討 ～乳幼児との対応を中心に～	全国保育士養成協議会ブロック研究助成金	(○脇信明) (古林ゆり) (金子幸) (上原真幸) <u>阿南寿美子</u> (島田知和) 末寄雅美 (藤本朋美)	150,000円

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
九州保育者団体合同研究集会	北九州部会副委員長 分科会運営委員 第 50 回福岡集会副実行委員長	2012 年 4 月～現在に至る 2016 年～現在に至る 2019 年～現在に至る
北九州市児童福祉事業第三者評価事業	専門委員	2016 年 4 月～現在に至る
NPO 法人あゆみの森共同保育園	第三者委員	2018 年 1 月～

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

<p>教職課程委員会 副委員長 (2013 年 4 月～現在に至る)</p> <p>入学試験会議委員 (2014 年 4 月～現在に至る)</p> <p>西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園運営委員 (2016 年 4 月～現在に至る)</p> <p>西南女学院評議員 (2016 年 4 月～2020 年 3 月)</p> <p>教員免許状更新講習コーディネーター (2014 年 4 月～現在に至る) ・ 講座担当補佐 (2018 年 8 月 21 日、2019 年 1 月 12 日)</p> <p>短期大学部第三者評価 ALO (2016 年～現在に至る)</p> <p>認定絵本士資格講座責任者 (2018 年～現在に至る)</p> <p>2018 年度ガイダンス等 (5 回) 、高校訪問 他</p>
